広報いしかわ　令和7年3月26日　No.2401
石川県戦略広報課 TEL:076(225)1239　WEBでも発信中
県庁代表 TEL：076(225)1111　行政相談 TEL：076(225)1100

石川県令和7年度実質当初予算

一般会計計上　9,341億1,800万円

令和7年度当初予算は今年を「復興元年」と位置づけ、「能登の復旧・復興」を推進するとともに「幸福度日本一の石川県」の実現に向け、県成長戦略の具現化に取り組む、二本柱の予算としました。
また、昨年12月に成立した国補正予算に盛り込まれた賃上げ・物価高対策や国土強靱化に呼応した令和6年度第1次3月補正予算と令和7年度当初予算を実質当初予算として一体的に編成しました。
このほか、令和6年度第2次3月補正予算において、国の予備費で措置された能登創造的復興支援交付金(500億円)を予算化。複数年にわたって創造的復興の推進に活用してまいります。

能登半島地震及び奥能登豪雨への対応

❶ 暮らしとコミュニティーの再建

・生活再建に課題を抱える世帯への生活再建支援アドバイザーによる伴走支援
・民間賃貸住宅の情報集約によるマッチング支援
・各種支援制度や相談窓口をまとめたハンドブックの作成　など

❷ 能登の特色あるなりわいの再建

・能登事業者支援センターの体制強化
・商工会議所・商工会の体制強化
・経営環境の大きな変化に対応する新たなチャレンジへの支援
・副業・兼業人材の活用促進
・起業の促進
・事業承継の推進
・代替農地での営農再開支援
・「今行ける能登」への誘客促進
・市町の観光振興への総合的支援　など

❸ 誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり

・危機管理部の創設
・県総合防災情報システムの機能強化
・避難所の良好な生活環境確保に向けた資機材整備
・県立学校体育館への空調設備の計画的な整備
・奥能登公立4病院の機能強化
・災害への対応力を有する看護人材の養成
・県立高校でのふるさと教育・創造的復興教育の推進　など

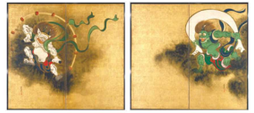
❹ 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

・公共施設等の復旧
・奥能登地域における幹線道路の強靱化・移動高速化
・能登半島絶景海道の整備
・道の駅の防災機能強化　など

❺ 創造的復興リーディングプロジェクトの推進

・「いしかわサテライトキャンパス」の受け入れ学生数倍増や、登録システムの構築による関係人口の創出・拡大
・被災地の復興活動の支援に取り組む能登官民連携復興センターの運営支援
・能登駅伝の開催準備
・復興支援特別展「ひと、能登、アート。」の開催

NOTORENPUKU



重文「風神雷神図屏風」（尾形光琳筆　東京国立博物館蔵）

・輪島塗の創造的復興に向けた官・民・産地共同プロジェクトの推進
・ジオパークなど震災遺構の地域資源化に向けた取り組みの推進
・「のとSDGsトレイル（仮称）」の創設に向けた検討
・トキの放鳥に向けた取り組みの推進　など

海底が隆起した黒島漁港

・復興基金の市町への枠配分

成長戦略の実現に向けた諸施策

● 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

・デジタル活用ものづくり支援センターを拠点としたDXの取り組み支援
・「Back to ISHIKAWA／Stay ISHIKAWA」プロジェクトの推進による学生の県内就職への意識醸成
・学生の県内就職促進に向けた経済的支援の充実
・石川の食品・農林水産物の輸出強化
・加賀料理の無形文化財登録に向けた取り組み

デジタル活用ものづくり支援センター

● 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

・いしかわ耕稼塾におけるスマート農業技術活用促進コースの設置
・環境保全型農業の推進

● 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

・観光客データの収集・分析による戦略的誘客の推進
・オーバーツーリズムの予防的対策
・金沢港将来ビジョンの推進
・小松空港の機能強化・活性化
・移住・定住の促進のため情報発信の強化
・金沢城二の丸御殿「表向」主要部の第1期整備
・木場潟公園東園地未整備区域の基本設計

● 石川の未来を切り拓く人づくり

・ICTを活用した遠隔授業のモデル実施
・寺井高等学校敷地内での新たな特別支援学校の整備

● 温もりのある社会づくり

・プレミアム・パスポートの全ての子育て世帯への拡大
・能登北部保健福祉センターの移転整備
・社会福祉会館の移転整備　など